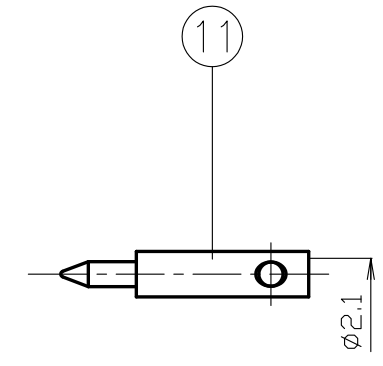
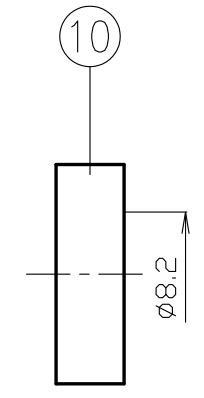
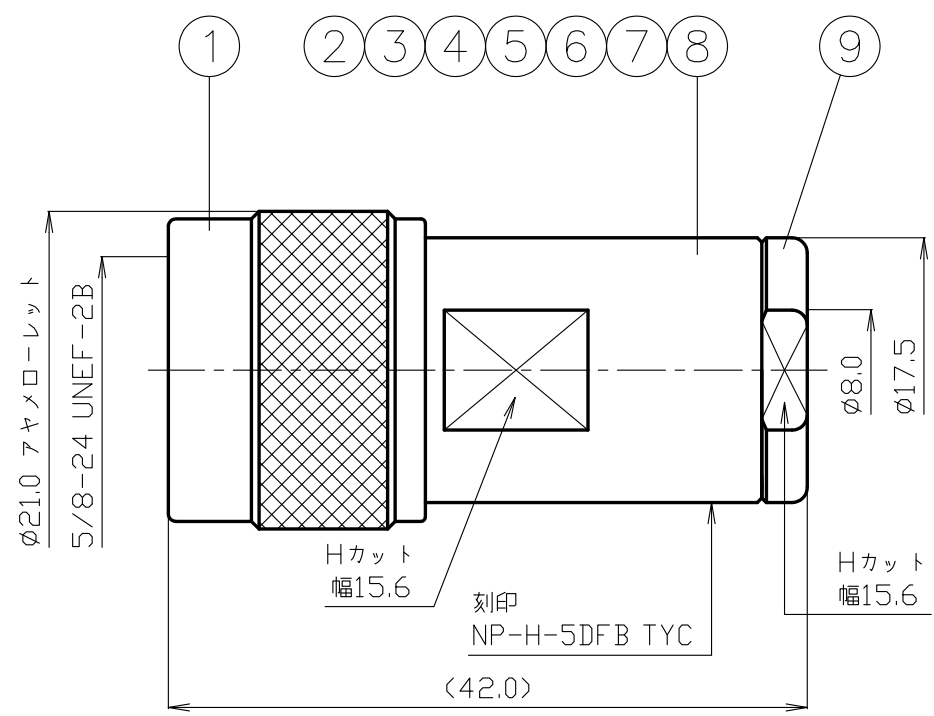


番号	変更・記事	日付	確認
△1	社名変更	2012.01.05	(山本)
△2			
△3			
△4			
△5			



番号	部品名	材質	数量	処理	備考
11	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
10	ガスケット	シリコンゴム	1	--	
9	締付ナット	黄銅	1	Ni	
8	ワッシャー	黄銅	1	Ni	
7	クランプ	黄銅	1	Ni	
6	ブッシング	黄銅	1	Ni	
5	保持リング	リン青銅	1	--	
4	絶縁体	テフロン	1	--	
3	ガスケット	シリコンゴム	1	--	
2	シェル	黄銅	1	Ni	
1	接続ナット	黄銅	1	Ni	

尺度 2/1
単位 mm
日付 2008,10,03

製図	検図	承認	確認
山 '12,01,05 口	檜 '12,01,05 澤	山 '12,01,05 本	中村 '12,01,05 義

RoHS Compliant Cd ≤75ppm
REMARKS BRASS: Cd ≤75ppm
PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

品名
NP-H-5DFB
図番 J-0513180TT



仕 様 書

品 名 NP-H-5DFB

No. 0511249

図 番 J-0513180TT

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5411,MIL-C-39012
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω
 5 使用温度範囲 -40～85℃

確 認	検 印	作 成
山 '15.11.20 本	檜 '15.11.20 澤	渡邊 '15.11.20 直弘

	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 J-0513180TT)	異常のないこと
2			
3			
4	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間にて	異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は 直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ以下
7	電圧定在波比	周波数 6000MHzまで	1.2以下
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	適合ケーブル	5D-FB ・ ※EM-5D-FB ※印のついたケーブルは専用のフレア工具を使用すること。	
10	ケーブル接続強度	軸方向引張力 200N以上	異常のないこと
11	結合部接続強度	軸方向引張力300Nの引張力を加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
12			

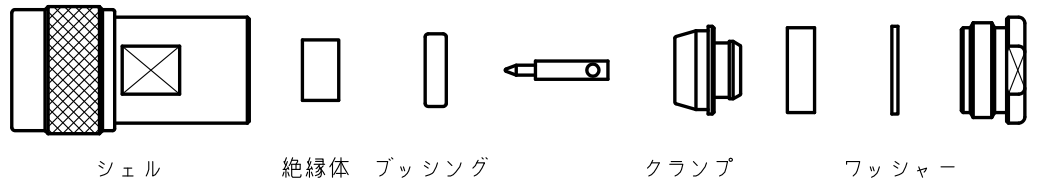
GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012.01.05
2	使用温度範囲・適合ケーブル 追記	2015.11.20
3		

NP-H-5DFB 取付仕様書

適合ケーブル 5D-FB、*EM-5D-FB (*印の付いたケーブルは専用のフレア工具を使用すること) △
5D-FB-LITE △

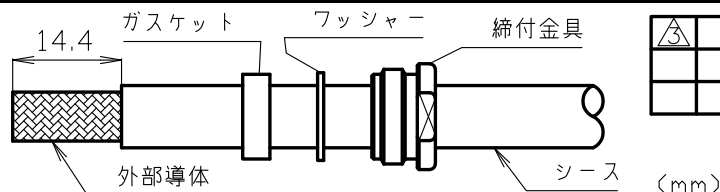
部品構成



図番 J-0513180TT

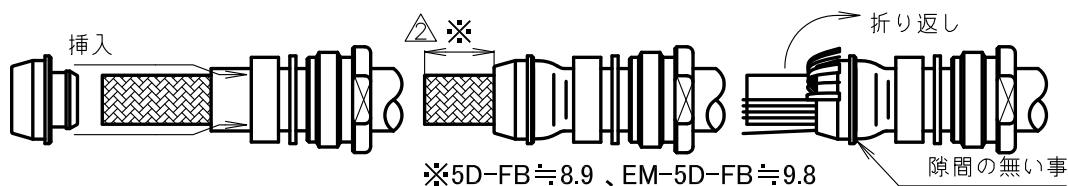


作成	確認
 榎 澤 '18.11.19	 山 本 '18.11.19

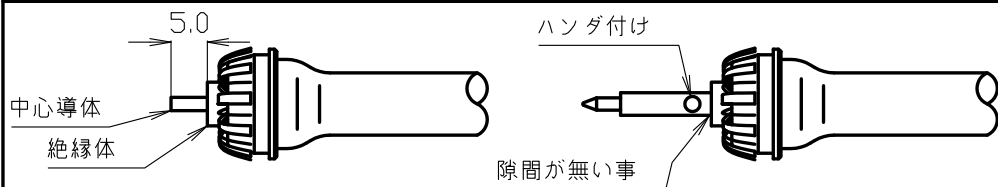


適合ケーブル	5D-FB-LITE 追記	2018.11.19	番号	変更・記事	日付
△			△	社名変更	2012.01.05
△			△	適合ケーブル 追記・組付け時の寸法 追記	2015.03.31

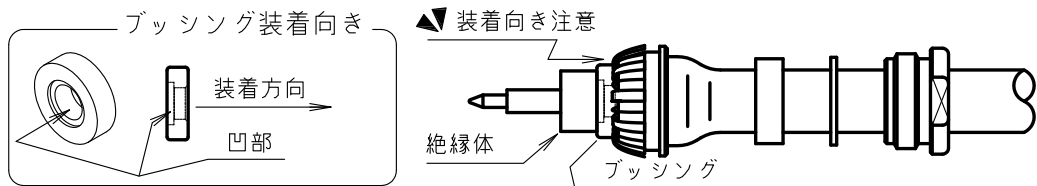
① 同軸ケーブルへ締付金具、ワッシャー、ガスケットの順に通し、シースを図中の寸法で切りとる。



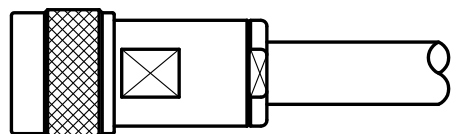
② ケーブルの外部導体とシースの間にクランプを挿入し、外部導体をほぐし折り返して切りそろえる。アルミ箔/銅箔はたんざく状に切り折り返し、外部導体の上に撫で付ける。この時、クランプはケーブル外皮との隙間が無くなるまで挿入する事



③ 絶縁体を指定の寸法で切り取り、中心コンタクトをハンダ付けするハンダ付けの後、中心コンタクトを手で引張り抜けない事を確認する
注意：中心コンタクトとケーブル絶縁体の間に隙間が無い事
また、熱によりケーブル絶縁体に変形しない事



④ ブッシング、絶縁体を装着する。ブッシングは向きに注意しながら装着すること。



⑤ シェルを装着し、締付金具をスパナ等で締め付けて作業を完了する。